

しみずしょうがっこう 清水小学校くらしのきまり

くまもとしりつしみずしょうがっこう
熊本市立清水小学校

自分たちで決めたままりをしっかりと守ろう。



1. 学校生活でのきまり

- (1) 登下校は、決められた通学路を正しく安全に通る。
- (2) 交通のきまりを守って登下校をする。(横断歩道では左右を確かめて渡る。)
- (3) 登下校時刻を守る。
(登校時刻は7時30分から8時20分まで。勉強が終わったらすぐに下校する。)
- (4) 登校してから下校するまで、学校の外に出ない。
- (5) マスクの使用は個人の判断できめる。
(バスの中など、人が多いところではマスクをつけるようにしましょう。)
- (6) こまめに手洗いをし、健康な生活がおくれるようにする。
- (7) 学習に必要なもの以外は、許可なく学校に持ってこない。お金や携帯電話、お菓子やゲーム機なども持ってこない。
 - ・シャープペンシルは5・6年生のみ使用してもよい。本数は2本程度とし、高価なものや華美なものは持ってこない。芯は書きやすい硬さのものを選び、色は黒のみとする。芯の補充は休み時間に行く。学校ではシャープペンシルを分解しない。芯などがつまって使用できない場合は、2本目のシャープペンシルまたは鉛筆を使用する。
 - ・勉強の邪魔になったり、遊び道具になったりするような必要のない形、飾りのある筆箱を持ってこない。(低学年は箱形がのぞましい。中学年以上は学習にふさわしいものを使用する。)
- (8) 日焼け止めは、家庭でぬってきてもよい。学校には持ち込まない。
(無香料・ラメなどが入っていないもの。水泳の時期は、水に溶けないウォータープルーフのものを使用する。)
- (9) 自分の持ちものには記名し、人の持ち物には触らない。

- (10) 体育館は、子どもだけで勝手に使わない。
- (11) ボール遊びは運動場です。(くわしくは、「あそぶときのきまり」を読む。)
- (12) みんなのもの(ボール、長なわ、一輪車、掃除道具など)は大切に使い、こわれたらすぐ先生に届ける。使い終わったら、決められた場所に返す。
(一輪車は、担任の先生に伝えてから使う。)

- (13) ほかの教室に入るときは、「〇年〇組の〇〇です。〇〇の用事で来ました。入っていいですか。」とはっきりたずねて、先生の許しがでたら入る。(放課後、教室に入る時は、かならず職員室に声をかける。)



2. 学校の外でのきまり

- (1) 自転車は、保護者の責任のもとで乗り、交通ルールを守る。(交差点では止まり、左右の安全を確かめる。バス通りでは乗らない。安全のため、ヘルメットを必ずかぶる。)
- (2) 学校へは、歩いてくる。自転車で遊びに来ない。(平日も休みの日も)
- (3) 学校ではお菓子を食べない。(平日も休みの日も)
- (4) 物やお金の貸し借り、やりとりをしない。
- (5) 放課後遊びに行くときは、必ず一度家に帰り、家の人に行き先を告げてから出かける。
帰宅時刻は次のとおりとする。
- 3月～9月・・・午後6時
 - 10月～2月・・・午後5時
- ※この時刻までに、家に帰り着いておく。
- (6) 友達の家に子どもだけで集まって過ごさない。(その家の大人の人がいる時にしましょう。)
- (7) 校区外へは、子どもだけでは行かない。
- (8) インターネットの使用は、保護者の責任のもとで行い、ルールとマナーを守る。
(人を傷つける書き込みをしない。知らない人と連絡を取らない。住所や写真など、個人を特定できるような情報は書き込まない。)
- (9) 帰宅後の携帯電話は保護者が預かり、通信型ゲームも夜9時以降は保護者が管理する。

* 線部分については、感染症の状況により、変更する場合があります。

清水小学校の服装・頭髪のきまり

熊本市立清水小学校

学校は、勉強をする場です。みなさんの学びをさまたげる様な格好や、みなさんの安全を守ることができないような服装はしないようにしましょう。例えば、以下のような点に気をつけましょう。

1. 頭髪について

- パーマや脱色、髪を染めたり整髪料をつけたりしない。
- 髪をとめる場合は、U型細ヘアピンやスリーピン、またはゴム紐などで結ぶ。色は自由。飾りのあるものやシュシュは使用しない。



2. 靴下等について

- 冬季は、タイツや足首までのスパッツをはいてよい。いずれにしても、黒や白の華美でないものにする。

3. 冬季の重ね着について

- 登下校時は、ジャンパーをはおってきてもよい。（ただし、校内ではできるだけ脱ぎ、個人のロッカー（棚）に入れる。校内で着用する場合は、前のファスナーやボタンを閉める。腰に巻かない。）
- フード付きのジャンパーについては、フードをかぶって登校しない。学校でもかぶらない。
- 服には、必ず名札をつける。

4. 冬季の手袋・マフラー類について

- 寒くなったら、手袋を着用してもよい。
※手袋をしていない人が、ポケットに手を入れて登校していることが多いので気をつける。
- マフラーは、ネックウォーマーのようなものがのぞましい。
（長いマフラーは、ひっかかって首をしめたりする危険があるので、着用する場合は、マフラーのはしを服の中にしまっ、ひっかかないようにする。）
- 登校した後も校舎外の活動では、ネックウォーマー・手袋を使ってよい。ただし、安全面に気をつけ、活動や遊びの内容次第では使わない。他の人のネックウォーマーをさわらない。手袋・マフラー（ネックウォーマー）ともに校舎内では着用しない。（ランドセルの中に入れておく）

5. 体育の際の服装について

- 特に寒い時期や体調の悪いとき、また体が温まるまでの間は、上着を着用してよい。ただし、以下の点に注意する。
 - ・ 上着の下には、必ず体育服（長袖の体育服を推奨）を着ておく。
 - ・ コート類など、登下校用の防寒着は運動に適さないので使用しない。
 - ・ フード付きの服は、安全面から着用しない。
 - ・ アンダーシャツやタイツは、着用しない。

6. カイロについて

- カイロを使用してもよいが、クラスと名前を必ず書く。授業中は、ポケットから出さない。
使用後は、必ず持ち帰るようにする。

7. その他

- ミサंगाやそれに類似のプレスレット、バングルは安全面及び衛生面の観点から着けてこない。
- ネックレスやピアス等の装飾品も、同様に着用しない。
- 爪に、マニキュア・ペディキュアなどを塗らない。
- 文房具については、不要なものを持ってこない。